

EPSON

製品マニュアル更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-1485FT

EB-805F

EB-800F

更新ファームウェアについて 5

ファームウェア Ver.1.50の概要	6
メニュー項目に関する変更 (Ver.1.50)	6
操作方法に関する変更 (Ver.1.50)	6
ファームウェア Ver.2.00の概要	8
メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)	8
操作方法に関する変更 (Ver.2.00)	8
ファームウェア Ver.2.10の概要	9
操作方法に関する変更 (Ver.2.10)	9
ファームウェア Ver.3.00の概要	10
メニュー項目に関する変更 (Ver.3.00)	10
操作方法に関する変更 (Ver.3.00)	10
ファームウェア Ver.3.01の概要	11
メニュー項目に関する変更 (Ver.3.01)	11
ファームウェア Ver.3.11の概要	12
メニュー項目に関する変更 (Ver.3.11)	12
操作方法に関する変更 (Ver.3.11)	12
対応解像度に関する変更 (Ver.3.11)	12
ファームウェア Ver.3.14の概要	13
メニュー項目に関する変更 (Ver.3.14)	13
ファームウェア Ver.3.30の概要	14
メニュー項目に関する変更 (Ver.3.30)	14
ファームウェア Ver.3.40の概要	15
アプリケーションの追加 (Ver.3.40)	15
メニュー項目に関する変更 (Ver.3.40)	15
ファームウェア Ver.3.50の概要	16
操作方法に関する変更 (Ver.3.50)	16
メニュー項目に関する変更 (Ver.3.50)	16

ファームウェアの変更詳細について 17

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.50)	18
イメージ強調	18
EDID	18
HDMI Out強度設定	19
音声出力およびHDMI音声出力	19
オートパワーオン	20
無線LAN方式	20
プロジェクターキーワード	21
割り込み接続	21
節電メニュー	21
ファームウェア更新	22
USBストレージを使ってファームウェアを更新する	22
コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する	24
すべての描画を削除	25
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.50)	26
USB Displayの対応OS	26
PC Free対応動画形式	26
2系統のScreen Mirroringソース	27
画面共有の機能追加	27
スクリーンタイプの変更	28
Web制御パスワード	28
保護されたメニューの全初期化	28
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.00)	29
入力ソース並び替え	29
メニューカラー/ツールバーの色	29
言語	29
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.00)	30
幾何学歪み補正の組み合わせ	30
HDMI Out設定の変更	30
スケジュール設定の初期化	30
Screen Mirroring投写画面からのマウス操作	31
Screen Mirroring映像をHDMI Out端子から出力	31
画面共有のガイド画面	31

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.10)	32
ホワイトボードのズーム操作	32
コマンドを使用したホワイトボードへの切り替え	32
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.00)	33
A/V出力	33
無信号時画面	33
ホーム画面自動表示	33
待機モードと高速起動	34
トランスミッター設定	34
無線LAN方式	35
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.3.00)	36
ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macの み)	36
はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備	36
ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する	37
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.01)	38
A/V出力	38
オートパワーオン	38
起動条件	39
待機モードと高速起動	39
トランスミッター設定	40
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.11)	41
ツールバーのマウスボタン	41
EDIDに2560×1080/60Hzの項目を追加	41
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.3.11)	42
マウスボタンとステータスインジケータをツールバーに追加	42
対応解像度に関する変更の詳細 (Ver.3.11)	43
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.14)	44
タッチユニットメニューにタッチユニット設置 (手動) を追加	44
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.30)	45
Crestron XiO Cloud	45

アプリケーションに関する詳細 (Ver. 3.40)	46
Epson Setting Assistant Ver.2.00	46
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.40)	47
初期設定ウィザード	47
幾何学歪み補正ウィザード	47
Setting Assistant接続	47
幾何学歪み補正	47
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.3.50)	49
Epson Projector Managementの操作変更	49
Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更	49
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.50)	50
EPMC監視制御	50

よくあるご質問 51

マルチプロジェクション機能のトラブル	52
タッチユニットの自動調整が失敗する	52
映像同士の色味が合わない	56
投写位置を調整したい	56
マルチプロジェクション機能のその他のトラブル	58
画面共有機能のトラブル	60
投写画面を配信する	60
画面共有を終了する	61
その他のトラブル	63
画面分割のトラブル	63
USB Displayのトラブル	63
ユーザーパターン保存のトラブル	63
Screen Mirroringに関するトラブル	63

付録 64

オプション	65
-------------	----

無線LAN用オプション	65
一般のご注意	66
ご注意	66
商標について	66
著作権について	66

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ファームウェア Ver.1.50の概要」 [p.6](#)
- 「ファームウェア Ver.2.00の概要」 [p.8](#)
- 「ファームウェア Ver.2.10の概要」 [p.9](#)
- 「ファームウェア Ver.3.00の概要」 [p.10](#)
- 「ファームウェア Ver.3.01の概要」 [p.11](#)
- 「ファームウェア Ver.3.11の概要」 [p.12](#)
- 「ファームウェア Ver.3.14の概要」 [p.13](#)
- 「ファームウェア Ver.3.30の概要」 [p.14](#)
- 「ファームウェア Ver.3.40の概要」 [p.15](#)
- 「ファームウェア Ver.3.50の概要」 [p.16](#)

ファームウェア Ver.1.50での変更の概要を説明します (EB-1485FT)。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.1.50)」 [p.6](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.1.50)」 [p.6](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.1.50)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

映像調整メニュー

- 「イメージ強調プリセット」を追加し、関連する設定を「イメージ強調」に集約

信号入出力メニュー

- 「EDID」をソースごとに設定できるように変更
- 「HDMI Out強度設定」を追加
- 「音声出力」および「HDMI音声出力」の「音声入力3」を端子名に合わせて「音声入力」に名称変更

動作メニュー

- 「オートパワーオン」の「USB Display」が、「信号入出力」で「USB Display」を「オン」に設定したときのみ表示されるよう変更

ネットワークメニュー

- 「無線LAN情報」の「無線LAN方式」にWi-Fiの世代名称が表示されるよう変更
- 「プロジェクターキーワード」を「Epson iProjection」から「ネットワーク投写」に移動

- 「Screen Mirroring」に「割り込み接続」を追加

節電メニュー

- 「スリープモード時間」を追加
- 「AVミュートタイマー」を追加

初期・全体設定メニュー

- 「ファームウェア更新」を追加

インタラクティブツールバー

- 「全ページ削除」を「すべての描画を削除」に名称変更

▶ 関連項目

- 「イメージ強調」 [p.18](#)
- 「EDID」 [p.18](#)
- 「HDMI Out強度設定」 [p.19](#)
- 「音声出力およびHDMI音声出力」 [p.19](#)
- 「オートパワーオン」 [p.20](#)
- 「無線LAN方式」 [p.20](#)
- 「プロジェクターキーワード」 [p.21](#)
- 「割り込み接続」 [p.21](#)
- 「節電メニュー」 [p.21](#)
- 「ファームウェア更新」 [p.22](#)
- 「すべての描画を削除」 [p.25](#)

操作方法に関する変更 (Ver.1.50)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- USB Display機能の対応OSにmacOS 10.15.x (64ビット) を追加
- PC Free機能での再生可能ファイルに.mp4/.mov (H.264、H265) を追加

- 使用可能なScreen Mirroringソースを2系統に拡張（Screen Mirroring1、Screen Mirroring2）
- 「画面共有」に機能を追加
- 「スクリーンタイプ」を変更したときにプロジェクターの再起動を促す画面を追加
- 「Epson Web Control」画面にアクセスしたときにパスワードの変更を促す画面を追加
- 「全初期化」で「メニュー保護」を有効にした項目を初期化しないよう変更

▶ 関連項目

- 「USB Displayの対応OS」 [p.26](#)
- 「PC Free対応動画形式」 [p.26](#)
- 「2系統のScreen Mirroringソース」 [p.27](#)
- 「画面共有の機能追加」 [p.27](#)
- 「スクリーンタイプの変更」 [p.28](#)
- 「Web制御パスワード」 [p.28](#)
- 「保護されたメニューの全初期化」 [p.28](#)

ファームウェア Ver.2.00での変更の概要を説明します (EB-1485FT)。

▶▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)」 [p.8](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.00)」 [p.8](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

表示メニュー

- [入力ソース並び替え] を追加
- [メニューカラー] を追加

管理メニュー

- [言語] にアイコンを追加

インタラクティブメニュー

- [ツールバーの色] を追加

▶▶ 関連項目

- 「入力ソース並び替え」 [p.29](#)
- 「メニューカラー/ツールバーの色」 [p.29](#)
- 「言語」 [p.29](#)

操作方法に関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- 幾何学歪み補正で複数の補正タイプを組み合わせで使用できるよう変更
- [HDMI Out設定] を変更したときにプロジェクターの再起動を促す画面を追加
- [管理初期化] または [全初期化] を選択したときに [スケジュール] が初期化されるように変更
- Screen Mirroringの投写画面でインタラクティブペンや指を使ったマウス操作ができるように変更
- HDCPで保護されていないScreen Mirroringの映像をHDMI Out端子から出力できるように変更
- 画面共有を受信するプロジェクターのIPアドレスを確認できるようにガイド画面を追加

▶▶ 関連項目

- 「幾何学歪み補正の組み合わせ」 [p.30](#)
- 「HDMI Out設定の変更」 [p.30](#)
- 「スケジュール設定の初期化」 [p.30](#)
- 「Screen Mirroring投写画面からのマウス操作」 [p.31](#)
- 「Screen Mirroring映像をHDMI Out端子から出力」 [p.31](#)
- 「画面共有のガイド画面」 [p.31](#)

ファームウェア Ver.2.10での変更の概要を説明します (EB-1485FT)。

▶▶ 関連項目

- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.10)」 [p.9](#)

操作方法に関する変更 (Ver.2.10)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ホワイトボードと入力映像で画面を分割しているときに、ホワイトボードの表示倍率を幅に合わせてたり高さに合わせてたりできる [ズーム] 機能を追加
- ホワイトボードへ画面を切り替えるコマンドを追加

▶▶ 関連項目

- 「ホワイトボードのズーム操作」 [p.32](#)
- 「コマンドを使用したホワイトボードへの切り替え」 [p.32](#)

ファームウェア Ver.3.00での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.3.00)」 [p.10](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.3.00)」 [p.10](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.3.00)

本バージョンでは、オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムの追加に伴い、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

信号入出力メニュー

- [A/V出力] の項目表示条件を追加

表示メニュー

- [無信号時画面] に設定値を追加
- [ホーム画面自動表示] の項目表示条件を追加

動作メニュー

- [待機モード] と [高速起動] の項目表示条件を追加

ネットワークメニュー

- [トランスミッター設定] を追加

ネットワーク設定メニュー

- [無線LAN方式] を追加

▶ 関連項目

- 「A/V出力」 [p.33](#)

- 「無信号時画面」 [p.33](#)
- 「ホーム画面自動表示」 [p.33](#)
- 「待機モードと高速起動」 [p.34](#)
- 「トランスミッター設定」 [p.34](#)
- 「無線LAN方式」 [p.35](#)

操作方法に関する変更 (Ver.3.00)

本バージョンでは、オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って投写できます。

ワイヤレスプレゼンテーションシステム (ELPWP10) には、2つのトランスミッター (ELPWT01) と1つの無線LANユニット (ELPAP11) が含まれています。

詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

▶ 関連項目

- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)」 [p.36](#)

ファームウェア Ver.3.01での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.3.01)」 [p.11](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.3.01)

本バージョンでは、Microsoft Teams Rooms対応に伴い、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

信号入出力メニュー

- [A/V出力] の項目表示条件を追加

動作メニュー

- [オートパワーオン] の内容を変更
- [起動条件] を追加
- [待機モード] と [高速起動] の項目表示条件を追加

ネットワークメニュー

- [トランスミッター設定] の [オートパワーオン] の項目表示条件を追加

▶ 関連項目

- 「A/V出力」 [p.38](#)
- 「オートパワーオン」 [p.38](#)
- 「起動条件」 [p.39](#)
- 「待機モードと高速起動」 [p.39](#)
- 「トランスミッター設定」 [p.40](#)

ファームウェア Ver.3.11での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.3.11)」 [p.12](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.3.11)」 [p.12](#)
- 「対応解像度に関する変更 (Ver.3.11)」 [p.12](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.3.11)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

インタラクティブメニュー (EB-1485FT)

- [ツールバーのマウスボタン] を追加

信号入出力 > EDIDメニュー

- [2560×1080/60Hz] を追加

▶ 関連項目

- 「ツールバーのマウスボタン」 [p.41](#)
- 「EDIDに2560×1080/60Hzの項目を追加」 [p.41](#)

操作方法に関する変更 (Ver.3.11)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- インタラクティブツールバーに、以下のボタンとインジケータを追加 (EB-1485FT)
 - マウスボタン
 - ステータスインジケータ

▶ 関連項目

- 「マウスボタンとステータスインジケータをツールバーに追加」 [p.42](#)

対応解像度に関する変更 (Ver.3.11)

本バージョンでは、対応解像度に以下の変更があります。

- 特殊な解像度に [21:9] (2560×1080) の項目を追加

▶ 関連項目

- 「対応解像度に関する変更の詳細 (Ver.3.11)」 [p.43](#)

ファームウェア Ver.3.14での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.3.14)」 [p.13](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.3.14)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

タッチユニットメニュー (EB-1485FT)

- [タッチユニット設置 (手動)] を追加
- [タッチユニット設置] の項目名称を [タッチユニット設置 (自動)] に変更

▶ 関連項目

- 「タッチユニットメニューにタッチユニット設置 (手動) を追加」
[p.44](#)

ファームウェア Ver.3.30での変更の概要を説明します。

▶ **関連項目**

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.3.30)」 [p.14](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.3.30)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

[ネットワーク設定] > [プロジェクター制御] メニュー

- [Crestron XiO Cloud] を追加

▶ **関連項目**

- 「Crestron XiO Cloud」 [p.45](#)

ファームウェア Ver.3.40での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「アプリケーションの追加 (Ver.3.40)」 [p.15](#)
- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.3.40)」 [p.15](#)

アプリケーションの追加 (Ver.3.40)

本バージョンでは、次のアプリケーションをサポートしています。

- Epson Setting Assistant Ver.2.00

▶ 関連項目

- 「Epson Setting Assistant Ver.2.00」 [p.46](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.3.40)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

- 初期設定ウィザードに [アプリを使って自動で調整する] の項目を追加
- [設置] メニューに以下を追加
 - [幾何学歪み補正ウィザード]
 - [Setting Assistant接続]
- [幾何学歪み補正] に [アプリで自動補正] の項目を追加

▶ 関連項目

- 「初期設定ウィザード」 [p.47](#)
- 「幾何学歪み補正ウィザード」 [p.47](#)
- 「Setting Assistant接続」 [p.47](#)
- 「幾何学歪み補正」 [p.47](#)

ファームウェア Ver.3.50での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「操作方法に関する変更 (Ver.3.50)」 [p.16](#)
- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.3.50)」 [p.16](#)

操作方法に関する変更 (Ver.3.50)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Epson Projector Managementを使うときの注意事項が追加されました。
 - [ネットワークエラー (Web制御パスワード認証エラー)] と表示される場合の対応方法を記載しました。
 - Epson Projector Managementを使ってプロジェクターのファームウェアを更新する場合の対応方法を記載しました。
 - Screen Mirroringでの投写中にデバイスを強制的に切断できるようになりました。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Managementの操作変更」 [p.49](#)
- 「Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更」 [p.49](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver.3.50)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

ネットワークメニュー

- [EPMC監視制御] を追加

▶ 関連項目

- 「EPMC監視制御」 [p.50](#)

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.50)」 [p.18](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.1.50)」 [p.26](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.00)」 [p.29](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.00)」 [p.30](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.10)」 [p.32](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.00)」 [p.33](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.3.00)」 [p.36](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.01)」 [p.38](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.11)」 [p.41](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.3.11)」 [p.42](#)
- 「対応解像度に関する変更の詳細 (Ver.3.11)」 [p.43](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.14)」 [p.44](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.30)」 [p.45](#)
- 「アプリケーションに関する詳細 (Ver. 3.40)」 [p.46](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.40)」 [p.47](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.3.50)」 [p.49](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.50)」 [p.50](#)

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します (EB-1485FT)。

▶ 関連項目

- 「イメージ強調」 p.18
- 「EDID」 p.18
- 「HDMI Out強度設定」 p.19
- 「音声出力およびHDMI音声出力」 p.19
- 「オートパワーオン」 p.20
- 「無線LAN方式」 p.20
- 「プロジェクターキーワード」 p.21
- 「割り込み接続」 p.21
- 「節電メニュー」 p.21
- 「ファームウェア更新」 p.22
- 「すべての描画を削除」 p.25

イメージ強調

[イメージ強調プリセット] を追加し、関連する設定が [イメージ強調] に集約されました。

変更前の映像調整メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
映像調整	ノイズリダクション	—
	MPEGノイズリダクション	—
	プログレッシブ変換	—
	超解像	—
	ディテール強調	—

変更後の映像調整メニュー (Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
映像調整	イメージ強調	イメージ強調プリセット
		ノイズリダクション
		MPEGノイズリダクション
		プログレッシブ変換
		超解像
		ディテール強調

イメージ強調プリセットを使用して、[イメージ強調] の設定値をプリセットの値で一括設定します。

EDID

[EDID] をソースごとに設定できます。入力ソースを切り替えることなく、ソースごとに [EDID] を設定できます。

変更前の信号入出力メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
信号入出力	EDID	—

選択したEDIDは現在の入力ソースに適用されます。

変更後の信号入出力メニュー (Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
信号入出力	EDID	HDMI1
		HDMI2
		HDMI3
		HDBaseT

選択したEDIDは現在の入力ソースに関わらず、それぞれの入力ソースに適用されます。

HDMI Out強度設定

[HDMI Out強度設定] が追加されました。HDMI Out端子からの映像が正しく出力されないときに、設定を変えてみてください。

変更前の信号入出力メニュー (Ver.1.00)

設定項目なし

変更後の信号入出力メニュー (Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
信号入出力	HDMI Out強度設定	<ul style="list-style-type: none"> • 強 • 中 • 弱 • オフ

音声出力およびHDMI音声出力

[音声出力] および [HDMI音声出力] の [音声入力3] が端子名に合わせて [音声入力] に名称変更されました。

変更前の信号入出力メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
信号入出力	音声出力	<ul style="list-style-type: none"> • オート • 音声入力1 • 音声入力2 • 音声入力3
	HDMI音声出力	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI1音声出力 <ul style="list-style-type: none"> • HDMI • 音声入力1 • 音声入力2 • 音声入力3 • HDMI2音声出力 <ul style="list-style-type: none"> • HDMI • 音声入力1 • 音声入力2 • 音声入力3 • HDMI3音声出力 <ul style="list-style-type: none"> • HDMI • 音声入力1 • 音声入力2 • 音声入力3

変更後の信号入出力メニュー (Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
信号入出力	音声出力	<ul style="list-style-type: none"> • オート • 音声入力 • 音声入力1 • 音声入力2
	HDMI音声出力	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI1音声出力 <ul style="list-style-type: none"> • HDMI • 音声入力 • 音声入力1 • 音声入力2 • HDMI2音声出力 <ul style="list-style-type: none"> • HDMI • 音声入力 • 音声入力1 • 音声入力2 • HDMI3音声出力 <ul style="list-style-type: none"> • HDMI • 音声入力 • 音声入力1 • 音声入力2

音声入力端子から音声を入力するときは、[音声入力] を選択します。

オートパワーオン

[オートパワーオン] の [USB Display] が、[信号入出力] で [USB Display] を [オン] に設定したときのみ表示されるよう変更されました。

変更前の動作メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
動作	オートパワーオン	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI • コンピューター1 • USB Display • オフ

変更後の動作メニュー (Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
動作	オートパワーオン (USB Displayがオンのとき)	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI • コンピューター1 • USB Display • オフ
	オートパワーオン (USB Displayがオフのとき)	<ul style="list-style-type: none"> • HDMI • コンピューター1 • オフ

無線LAN方式

[無線LAN情報] の [無線LAN方式] にWi-Fiの世代名称が表示されるよう変更されました。

変更前のネットワークメニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	無線LAN情報	—
	シンプルAP	—

変更後のネットワークメニュー (Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	無線LAN情報	無線LAN
		<ul style="list-style-type: none"> • 無線LAN方式 シンプルAP • 無線LAN方式

無線LAN方式では、Wi-Fi 4やWi-Fi 5などのWi-Fi世代名称が表示されます。

プロジェクターキーワード

[プロジェクターキーワード] が [Epson iProjection] から [ネットワーク投写] に移動されました。

変更前のネットワークメニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク設定	ネットワーク投写	Epson iProjection
		<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターキーワード

変更後のネットワークメニュー (Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク設定	ネットワーク投写	プロジェクターキーワード
		Epson iProjection

割り込み接続

[Screen Mirroring] に [割り込み接続] が追加されました。

変更前のネットワークメニュー (Ver.1.00)

設定項目なし

変更後のネットワークメニュー (Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク設定	ネットワーク投写	Screen Mirroring
		<ul style="list-style-type: none"> • 割り込み接続

割り込み接続：Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーによる投写画面の切り替えを許可するかどうかを選択します。Screen Mirroringソースを2系統使用するときは、[オフ] を選択します。

節電メニュー

[スリープモード時間] および [AVミュートタイマー] が追加されました。

変更前の節電メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
節電	スリープモード	—

変更後の節電メニュー (Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
節電	スリープモード	—
	スリープモード時間	—
	AVミュートタイマー	—

設定の詳細は『取扱説明書』の [動作] メニューをご覧ください。

ファームウェア更新

[ファームウェア更新] が追加されました。

変更前の初期・全体設定メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期・全体設定	全初期化	—

変更後の初期・全体設定メニュー (Ver.1.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期・全体設定	全初期化	—
	ファームウェア更新	—

ファームウェア更新を選択すると、プロジェクターがファームウェア更新モードになります。USB-AまたはUSB-B端子を使用してファームウェアを更新します。

▶▶ 関連項目

- 「USBストレージを使ってファームウェアを更新する」 [p.22](#)
- 「コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する」 [p.24](#)

USBストレージを使ってファームウェアを更新する

USBストレージを使って、プロジェクターのファームウェアを更新します。



ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

- 1 エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファームウェアファイルをダウンロードします。

- 2** ダウンロードしたファームウェアファイルを、USBストレージのルート（最上位のフォルダー）にコピーします。



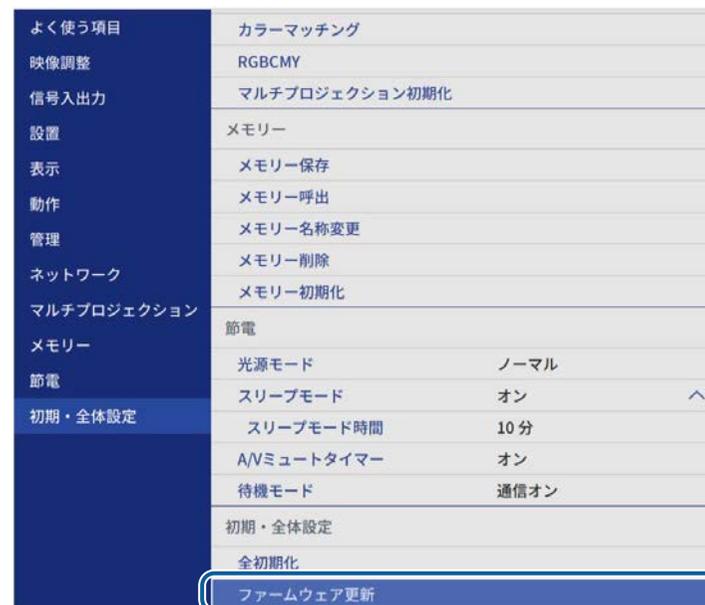
- USBストレージはFAT形式でフォーマットしたものを使用してください。
- USBストレージ内に、ファームウェアファイル以外のファイルをコピーしないでください。
- ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでください。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更新が開始されません。
- USBストレージにコピーしたファームウェアファイルが、お使いのプロジェクター用のファイルであることを確認してください。ファームウェアファイルが正しくないときは、ファームウェアの更新は始まりません。

- 3** 本機のUSB-A1端子にUSBストレージを接続します。



USBストレージは、プロジェクターに直接接続してください。USBハブを介してUSBストレージを接続すると、ファームウェアの更新が正常に行われなかったりすることがあります。

- 4** 【メニュー】 ボタンを押して、[初期・全体設定] メニューの [ファームウェア更新] を選択します。



- 5** [はい] を選択して、ファームウェア更新を開始します。



- ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。
- ファームウェアの更新中は、プロジェクターからUSBストレージを外さないでください。USBストレージを取り外すと、ファームウェアの更新が正常に行われなかったりすることがあります。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が開始されます。更新が正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。[動作] メニューの

[ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、[管理] メニューの [情報表示] を選択し、[バージョン] が正しく更新されているかを確認します。



すべてのインジケーターが高速で点滅するときは、ファームウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターから電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

コンピューターとUSBケーブルを使ってファームウェアを更新する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、プロジェクターのファームウェアを更新します。



- ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。
- ファームウェアを更新するには、お使いのコンピューターのOSが以下のいずれかである必要があります。
 - Windows 8.1 (32/64ビット)
 - Windows 10 (32/64ビット)
 - macOS 10.13.x (64ビット)
 - macOS 10.14.x (64ビット)
 - macOS 10.15.x (64ビット)

- 1 エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファームウェアファイルをダウンロードします。



- ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでください。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更新が開始されません。
- ダウンロードしたファームウェアファイルが、お使いのプロジェクター用のファイルであることを確認してください。ファームウェアファイルが正しくないときは、ファームウェアの更新は始まりません。

- 2 USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とプロジェクターのUSB-B1端子に接続します。

- 3 【メニュー】 ボタンを押して、[初期・全体設定] メニューの [ファームウェア更新] を選択します。

よく使う項目	カラーマッチング
映像調整	RGBCMY
信号入出力	マルチプロジェクション初期化
設定	メモリー
表示	メモリー保存
動作	メモリー呼出
管理	メモリー名称変更
ネットワーク	メモリー削除
マルチプロジェクション	メモリー初期化
メモリー	節電
節電	光源モード ノーマル
	スリープモード オン ^
初期・全体設定	スリープモード時間 10分
	A/Vミュートタイマー オン
	待機モード 通信オン
	初期・全体設定
	全初期化
	ファームウェア更新

4 [はい] を選択して、ファームウェア更新を開始します。



ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯し、ファームウェア更新モードになります。コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

5 コンピューター上で、リムーバブルディスクのルート（最上位のフォルダー）にファームウェアファイルをコピーします。



- ファームウェア以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。ファイルやフォルダーが失われる可能性があります。
- ファームウェアファイルがリムーバブルディスクにコピーされていない状態でUSBケーブルまたは電源ケーブルが抜けたときは、自動的に電源がオフになります。はじめから操作をやり直してください。

6 コンピューター上で、USB デバイスの取り外しを行い、プロジェクターからUSBケーブルを外します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が開始されます。更新が正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。[動作] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、更新後に自動で電源が入ります。

更新が終わったら、[管理] メニューの [情報表示] を選択し、[バージョン] が正しく更新されているかを確認します。



- すべてのインジケーターが高速で点滅するときは、ファームウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターから電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ファームウェア更新モードのまま20分間操作が行われないと、自動的に電源がオフになります。はじめから操作をやり直してください。

すべての描画を削除

インタラクティブツールバーの [全ページ削除] を [すべての描画を削除] に名称変更しました。

[すべての描画を削除] を選択すると、ホワイトボードモード、アノテーションモードで描画したすべての描画が削除されます。

操作方法に関する変更の詳細を説明します (EB-1485FT)。

▶ 関連項目

- 「USB Displayの対応OS」 [p.26](#)
- 「PC Free対応動画形式」 [p.26](#)
- 「2系統のScreen Mirroringソース」 [p.27](#)
- 「画面共有の機能追加」 [p.27](#)
- 「スクリーンタイプの変更」 [p.28](#)
- 「Web制御パスワード」 [p.28](#)
- 「保護されたメニューの全初期化」 [p.28](#)

USB Displayの対応OS

macOS 10.15.x (64ビット) でUSB Display機能が使用可能になりました。

変更前のUSB Display対応macOS (Ver.1.00)

- 10.12.x (64ビット)
- 10.13.x (64ビット)
- 10.14.x (64ビット)

変更後のUSB Display対応macOS (Ver.1.50)

- 10.12.x (64ビット)
- 10.13.x (64ビット)
- 10.14.x (64ビット)
- 10.15.x (64ビット)

PC Free対応動画形式

.mp4/.mov (H.264、H265) 形式のファイルがPC Free機能で再生可能になりました。

変更前のPC Free対応動画形式 (Ver.1.00)

ファイルタイプ (拡張子)	詳細
.avi (Motion JPEG)	<ul style="list-style-type: none"> • バージョン：AVI 1.0のみ • 音声コーデック：PCM、ADPCM • 解像度：最大1280×720 • サイズ：最大2 GB • 音声サンプリングレート：11.025 kHz、22.05 kHz、44.1 kHz、16 kHz、24 kHz、32 kHz

変更後のPC Free対応動画形式 (Ver.1.50)

ファイルタイプ (拡張子)	詳細
.avi (Motion JPEG)	<ul style="list-style-type: none"> • バージョン：AVI 1.0のみ • 解像度：最大1280×720 • サイズ：最大2 GB • 動画コーデック：Motion JPEG • フレームレート：最大30 fps • 音声コーデック：LPCM、IMA ADPCM • 音声サンプリングレート：11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz

ファイルタイプ (拡張子)	詳細
.mp4/.mov (H.264, H265)	<ul style="list-style-type: none"> 解像度：最大1920×1200 サイズ：最大2 GB 動画コーデック：H.264/MPEG-4 AVC、H.265/MPEG-H HEVC フレームレート：最大30 fps プロファイル： <ul style="list-style-type: none"> H.264/MPEG-4 AVC：Baseline Profile、Main Profile、High Profile H.265/MPEG-H HEVC：Main Profile カラーフォーマット：YUV420 ビデオのスライス構造が複数でないこと 音声コーデック：MPEG-2 AAC-LC、MPEG-4 AAC-LC、LPCM 音声チャンネル：最大2チャンネル 音声ビットレート：8ビット、16ビット 音声サンプリングレート： <ul style="list-style-type: none"> MPEG-2 AAC-LC：44.1 kHz、48 kHz MPEG-4 AAC-LC：44.1 kHz、48 kHz LPCM：11.025 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

2系統のScreen Mirroringソース

Miracastを搭載したデバイスを2台同時に接続できます。その場合、入力ソースはScreen Mirroring1、Screen Mirroring2として検出されます。

変更前のScreen Mirroringの動作 (Ver.1.00)

1台のデバイスのみ接続できます。

変更後のScreen Mirroringの動作 (Ver.1.50)

2台のデバイスを同時に接続できます。2台のデバイスを同時に接続するときは、[ネットワーク]メニューから、[割り込み接続]を[オフ]に設定します。

☞ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring] > [割り込み接続]



- 4画面に分割するとき、USB、Screen Mirroring1、Screen Mirroring2は2つまで選択できます。
- PJLinkのコマンドで入力ソースを指定するときは、以下の番号を使用します。
 - Screen Mirroring1: 57
 - Screen Mirroring2: 58

画面共有の機能追加

画面共有機能を使うときの操作が変更されました。ファームウェアバージョンが異なるプロジェクター間でも画面共有はできませんが、設定により画面が共有できないことがあります。ファームウェアバージョンが同一のプロジェクター間で画面共有機能を使用することをお勧めします。

変更前の画面共有の動作 (Ver.1.00)

- 配信するプロジェクターで、[設置]メニューの[スクリーンタイプ]は[16:9]、[16:10]、[4:3]のいずれかに設定します。
- 受信するプロジェクターで、[スクリーンタイプ]は配信するプロジェクターと同じに設定します。

- 受信するプロジェクターでは、描画ツールは切り替えられません。

変更後の画面共有の動作 (Ver.1.50)

- 配信、受信どちらのプロジェクターでも任意の [スクリーンタイプ] を選択できます。
- 受信するプロジェクターで、ツールバーから描画ツールを選択できます。(蛍光ペンは使用できません。)



- 描画エリアの任意の場所でペン側面のボタンを押して、ミニツールボックスを使用することもできます。ミニツールボックスでは、ペンや消しゴムの種類を選択できます。
- 指を使って操作しているときはミニツールボックスを表示できません。

スクリーンタイプの変更

[スクリーンタイプ] を変更したとき、他の機能が正しく動作するようにプロジェクターの再起動が必要になることがあります。

変更前のスクリーンタイプの動作 (Ver.1.00)

[スクリーンタイプ] を変更しても、再起動は必須ではありません。

変更後スクリーンタイプの動作 (Ver.1.50)

[スクリーンタイプ] を変更したとき、プロジェクターを再起動するメッセージが表示されます。画面の指示に従って、プロジェクターを再起動します。

Web制御パスワード

[Epson Web Control] 画面で [詳細設定] にアクセスしたときに、パスワードを変更することをお勧めします。

変更前のEpson Web Controlの動作 (Ver.1.00)

[Epson Web Control] をパスワードを変更せずに使用できます。

変更後のEpson Web Controlの動作 (Ver.1.50)

[Epson Web Control] 画面で [詳細設定] にアクセスしたときに、パスワードの変更画面が表示されます。画面の指示に従ってパスワードを変更してください。

プロジェクターへの不正アクセスを防止するため、パスワードを定期的に変更することをお勧めします。

保護されたメニューの全初期化

[全初期化] で [メニュー保護] を有効にしたメニュー設定を初期化しないよう変更されます。

変更前の全初期化動作 (Ver.1.00)

[全初期化] を実行すると、[メニュー保護] 設定に関わらずすべての設定が初期化されます。

変更後の全初期化動作 (Ver.1.50)

[ネットワーク] および [インタラクティブ] メニューでは、[メニュー保護] が有効なとき、[全初期化] を実行しても設定が初期化されません。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します (EB-1485FT)。

▶ 関連項目

- 「入力ソース並び替え」 p.29
- 「メニューカラー/ツールバーの色」 p.29
- 「言語」 p.29

入力ソース並び替え

[入力ソース並び替え] が [表示] メニューに追加されました。

変更前の表示メニュー (Ver.1.00)

設定項目なし

変更後の表示メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	入力ソース並び替え	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ

[入力ソース並び替え] をオンにすると、検出した入力ソースがホーム画面の左上に表示されます。入力信号を検出すると、ソースの並び順が変わります。

メニューカラー/ツールバーの色

[メニューカラー] が [表示] メニューに、[ツールバーの色] が [インタラクティブ] メニューに追加されました。

変更前の表示メニュー (Ver.1.00)

設定項目なし

変更後の表示/インタラクティブメニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	メニューカラー	<ul style="list-style-type: none"> • 黒 • 白
インタラクティブ	ツールバーの色	<ul style="list-style-type: none"> • 黒 • 白

[メニューカラー] で、ホーム画面とプロジェクターメニューのカラーテーマを設定します。[ツールバーの色] で、インタラクティブツールバーの色を設定します。

言語

[言語] に  アイコンが追加されました。メニューが他の言語で表示されているときも、言語メニューを識別できます。

操作方法に関する変更の詳細を説明します (EB-1485FT)。

▶ 関連項目

- 「幾何学歪み補正の組み合わせ」 p.30
- 「HDMI Out設定の変更」 p.30
- 「スケジュール設定の初期化」 p.30
- 「Screen Mirroring投写画面からのマウス操作」 p.31
- 「Screen Mirroring映像をHDMI Out端子から出力」 p.31
- 「画面共有のガイド画面」 p.31

幾何学歪み補正の組み合わせ

幾何学歪み補正で複数の補正タイプを組み合わせで使用できます。複数の補正タイプを併用することで、はじめに大まかな調整をしてから、詳細な調整ができます。

- [湾曲補正] で補正した後、[Quick Corner]、[ポイント補正] の順で補正結果を微調整できます。
- [Quick Corner] で補正した後、[ポイント補正] で補正結果を微調整できます。

変更前の幾何学歪み補正 (Ver.1.00)

幾何学歪み補正で複数の補正タイプを組み合わせることはできません。

変更後の幾何学歪み補正 (Ver.2.00)

[湾曲補正] または [ポイント補正] を選択したときは、組み合わせで使用する補正タイプに切り替えられます。

HDMI Out設定の変更

[HDMI Out設定] の [台数]、[順番] を変更したとき、機能が正しく動作するようにプロジェクターの再起動が必要になることがあります。

変更前のHDMI Out設定の動作 (Ver.1.00)

[HDMI Out設定] の [台数]、[順番] を変更しても、再起動は必須ではありません。

変更後のHDMI Out設定の動作 (Ver.2.00)

[HDMI Out設定] の [台数]、[順番] を変更したとき、プロジェクターを再起動するメッセージが表示されます。画面の指示に従って、プロジェクターを再起動します。

スケジュール設定の初期化

[管理初期化] または [全初期化] を選択したときに [スケジュール] が初期化できます。

変更前の初期化動作 (Ver.1.00)

[スケジュール設定] は初期化できません。

変更後の初期化動作 (Ver.2.00)

[管理初期化] または [全初期化] を選択したときに [スケジュール] を初期化できます。

Screen Mirroring投写画面からのマウス操作

本機とコンピューターをScreen Mirroringで接続したとき、インタラクティブペンまたは指を使って、投写画面上でコンピューターを操作できます。

変更前のインタラクティブの動作 (Ver.1.00)

Screen Mirroring投写画面上では、インタラクティブペンまたは指を使ってコンピューターを操作できません。

変更後のインタラクティブの動作 (Ver.2.00)

UIBC (ユーザー入力バックチャネル) をサポートしているWindows 10コンピューターを使っているとき、Screen Mirroring投写画面上からインタラクティブペンまたは指を使ってコンピューターを操作できます。

Screen Mirroring接続時にコンピューターを操作するには、キーボードのWindows キーを押したまま [K] キーを押して、[このデバイスからのマウス、キーボード、タッチ、ペン入力を許可する] にチェックを入れます。

Screen Mirroring映像をHDMI Out端子から出力

HDCPで保護されていないScreen Mirroringの映像をHDMI Out端子から出力できます。

変更前のHDMI Outの動作 (Ver.1.00)

Screen Mirroringの映像はHDMI Out端子から出力できません。

変更後のHDMI Outの動作 (Ver.2.00)

[キャプチャー] 設定を変更すると、HDMI Out端子の動作を変更できます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring] > [キャプチャー]

[使用可能] に設定すると、Screen Mirroringの映像をHDMI Out端子に出力できます。HDCPが無効になり、HDCPで保護された映像が投写できなくなる場合があります。HDCPで保護された映像を投写したいときは、[使用不可] に設定してください。

画面共有のガイド画面

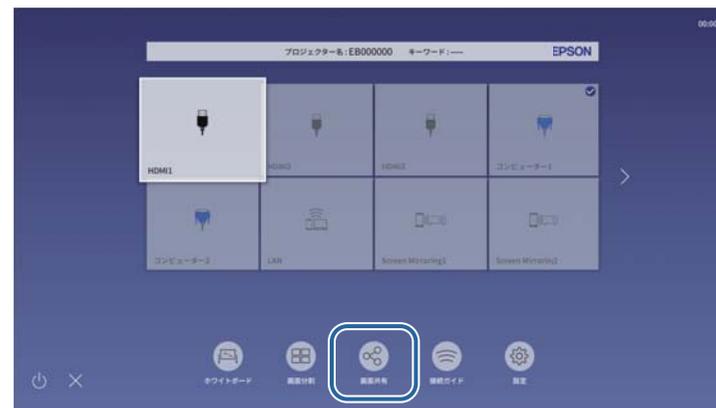
画面共有をするとき、共有するプロジェクターのIPアドレスを指定する必要があります。IPアドレスをガイド画面で確認できます。

変更前の画面共有の動作 (Ver.1.00)

共有画面を受信するプロジェクターのIPアドレスは、リモコンの【LAN】ボタンを押して表示するネットワーク情報画面で確認できます。

変更後の画面共有の動作 (Ver.2.00)

共有画面を受信するプロジェクターのホーム画面で、[画面共有] を選択し、[共有画面を受信する] を選択します。ガイド画面に表示されるIPアドレスを確認します。



操作方法に関する変更の詳細を説明します (EB-1485FT)。

▶ 関連項目

- 「ホワイトボードのズーム操作」 p.32
- 「コマンドを使用したホワイトボードへの切り替え」 p.32

ホワイトボードのズーム操作

ホワイトボードと入力映像で画面を分割しているときに、ホワイトボードの表示倍率を幅に合わせてたり高さに合わせてたりできる [ズーム] 機能が追加されました。拡大表示しているときは、画面をドラッグして表示位置を動かすことができます。

変更前のズーム動作 (Ver.1.00)

ホワイトボード画面の左端に表示される  ボタンを押すと、以下のズーム機能が使用できます。

-  : 画像を縮小します。
-  : 画像を拡大します。
-  : 元のサイズに戻します。
-  : 選択したエリアを拡大します。

変更後のズーム動作 (Ver.2.10)

ホワイトボード画面の左端に表示される  ボタンを押すと、従来のズーム機能に加えて以下のズーム機能が使用できます。

-  : 2画面投写中にホワイトボードの表示倍率を幅に合わせて変更し、ホワイトボード全体を表示します。
-  : 2画面投写中にホワイトボードの表示倍率を高さに合わせて変更し、ホワイトボードを等倍表示します。

コマンドを使用したホワイトボードへの切り替え

ホワイトボードへ画面を切り替えるコマンドが追加されました。

変更前のコマンド動作 (Ver.1.00)

コマンドを使ったホワイトボードへの画面切り替えはできません。

変更後のコマンド動作 (Ver.2.10)

ホワイトボードへ画面を切り替える以下のコマンドを利用できます。

コマンド種類	コマンド	設定値
ESC/VP21	SOURCE xx	55: ホワイトボード
PJLink	INPT	55: ホワイトボード

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「A/V出力」 p.33
- 「無信号時画面」 p.33
- 「ホーム画面自動表示」 p.33
- 「待機モードと高速起動」 p.34
- 「トランスミッター設定」 p.34
- 「無線LAN方式」 p.35

A/V出力

「A/V出力」の項目表示条件が追加されました。

変更前の信号入出力メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	[動作] メニューの [高速起動] が [オフ] のとき表示されます。

変更後の信号入出力メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている

無信号時画面

「無信号時画面」に設定値として「グラデーション」が追加されました。

変更前の表示メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	無信号時画面	黒 青 ロゴ

変更後の表示メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
表示	無信号時画面	黒 青 ロゴ グラデーション

ホーム画面自動表示

「ホーム画面自動表示」の項目表示条件が追加されました。

変更前の表示メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
表示	ホーム画面自動表示	—

変更後の表示メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
表示	ホーム画面自動表示	[ネットワーク] メニューの [接続ガイド表示] が [オフ] のとき表示されます。

待機モードと高速起動

[待機モード] と [高速起動] の項目表示条件が追加されました。

変更前の動作メニュー (Ver.2.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	[信号入出力] メニューの [AV出力] が [投写時] のとき表示されます。
	高速起動	

変更後の動作メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [信号入出力] メニューの [AV出力] が [投写時] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている
	高速起動	

トランスミッター設定

[トランスミッター設定] が追加されました。

変更前のネットワークメニュー (Ver.2.00)

設定項目なし

変更後のネットワークメニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	トランスミッター設定	ペアリング開始
		オートパワーオン
		接続ガイド表示

ペアリング開始

Epson Wireless Transmitter Settingsを使って、コンピューターからトランスミッターのネットワーク情報を更新します。詳しくは『Epson Wireless Transmitter Settings操作ガイド』をご覧ください。

無線LANユニットが取り付けられ、[ネットワーク設定] メニューの [シンプルAP] が [オン] のとき表示されます。

オートパワーオン

[オン] にすると、ワイヤレスプレゼンテーションシステムでコンピューターを接続したときに、本機の電源がオンになります。

以下の場合に表示されます。

- [信号入出力] メニューの [AV出力] が [投写時] に設定されている
- [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている

接続ガイド表示

[オン] にすると、本機の起動時に入力信号がない場合に、ホーム画面ではなくトランスミッター (Epson Wireless Presentation) の接続ガイドを自動的に表示します。設定の変更は、本機の電源を入れないときは有効になりません。

QRコードを使用してモバイルデバイスに接続するときには、[オフ] にします。

[動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のとき表示されま
す。

無線LAN方式

[無線LAN方式] が追加されました。

変更前のネットワーク設定メニュー (Ver.2.00)

設定項目なし

変更後のネットワーク設定メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	ネットワーク設定	無線LAN方式 • 802.11ac (Wi-Fi 5) • 802.11n (Wi-Fi 4)

本機とモバイルデバイスの通信方式を選択します。

お住まいの国や地域により、選択できる方式は異なります。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)」 [p.36](#)

ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って接続する (Windows/Macのみ)

オプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムを使用すると、無線LANに対応したコンピューターとプロジェクターを簡単に無線接続できます。ワイヤレスプレゼンテーションシステム (ELPWP10) には、2つのトランスミッター (ELPW01) と1つの無線LANユニット (ELPAP11) が含まれています。

詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

▶ 関連項目

- 「はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備」 [p.36](#)
- 「ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する」 [p.37](#)

はじめてワイヤレスプレゼンテーションシステムを使うときの準備

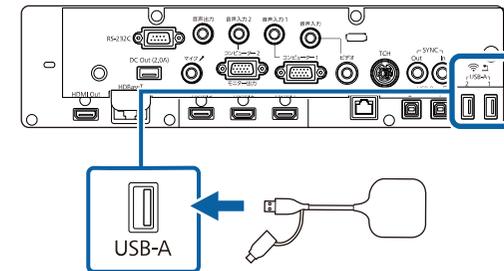
トランスミッターとプロジェクターをペアリングするなど、ワイヤレスプレゼンテーションシステムを使って投写するための準備をします。

ここでは、EB-1485FTのイラストを用いて説明します。



- ペアリングする前に、本機のネットワーク設定を行ってください。
- [ネットワーク設定] メニューの [プロジェクター名] または [パスフレーズ] を変更したときは、トランスミッターを再度ペアリングする必要があります。
- Epson Wireless Transmitter Settingsを使うと、コンピューターからペアリングできます。詳しくは『Epson Wireless Transmitter Settings操作ガイド』をご覧ください。
- 必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。
epson.jp/download

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 トランスミッターを本機のUSB-A端子に接続します。



EB-805F/EB-800Fをお使いの場合、プロジェクター本体には英語名称が印字されています。

ネットワーク情報が書き込まれ、完了メッセージが表示されます。ペアリング完了まではしばらく時間がかかります。

⚠ 注意

ネットワーク情報の書き込み中は、プロジェクターから電源コードやトランスミッターを取り外さないでください。電源コードやトランスミッターを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。完了メッセージの表示を確認してからトランスミッターを取り外すようにしてください。

3 続けてペアリングする場合は、もう1つのトランスミッターを接続します。

4 必要に応じて [はい] を選択し、[接続ガイド表示] を [オン] にします。



- [はい] を選択することをお勧めします。次回以降、本機の起動時に入力信号がない場合に、トランスミッター (Epson Wireless Presentation) の接続ガイドが表示されません。
- [接続ガイド表示] が [オフ] で [コンテンツ再生] が [オフ] のとき、[接続ガイド表示] を [オン] にするメッセージが表示されます。
- [ネットワーク] メニューで接続ガイドの表示を変更できます。
 [ネットワーク] > [トランスミッター設定] > [接続ガイド表示]

5 トランスミッターを取り外して、無線LANユニットを取り付けます。

6 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

7 [管理] メニューの [無線LAN電源] が [オン] に、[ネットワーク設定] メニューの [シンプルAP] が [オン] になっていることを確認します。

本機を再起動して、接続ガイドの表示設定を有効にすることをお勧めします。



[ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] を [オン] に設定すると、本機がスタンバイ状態 (電源オフ) でも投写を開始できます。

[ネットワーク] > [トランスミッター設定] > [オートパワーオン]

ワイヤレスプレゼンテーションシステムで投写する

ペアリング済みのトランスミッターを使うと、プロジェクター (レシーバー) とWindows/Macコンピューターを直接接続し、素早く簡単に映像を投写できます。



無線LANユニットが本機に取り付けられていることを確認します。

1 本機の電源を入れます。

2 コンピューターのUSB端子にトランスミッターを接続します。

3 トランスミッター内のEpson Wireless Presentationを使って投写します。詳しくは『Epson Wireless Presentation System取扱説明書』をご覧ください。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「A/V出力」 p.38
- 「オートパワーオン」 p.38
- 「起動条件」 p.39
- 「待機モードと高速起動」 p.39
- 「トランスミッター設定」 p.40

A/V出力

[A/V出力] の項目表示条件が追加されました。

変更前の信号入出力メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている

変更後の信号入出力メニュー (Ver.3.01)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
信号入出力	A/V出力	以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [動作] メニューの [起動条件] が [接続検出] に設定されている • [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている

オートパワーオン

[オートパワーオン] の内容が変更されました。

変更前の動作メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	内容
動作	オートパワーオン	オートパワーオンに使用する入力ソースを設定します。 本機がスタンバイ状態のときに、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 [USB Display] は [USB Display] が [オン] のとき表示されます。(EB-1485FT)

変更後の動作メニュー (Ver.3.01)

トップメニュー	サブメニュー	内容
動作	オートパワーオン	<p>オートパワーオンに使用する入力ソースを設定します。</p> <p>[HDMI1] を選択したときは、[起動条件] で本機の起動方法を設定します。</p> <p>[USB Display] は [USB Display] が [オン] のとき表示されます。(EB-1485FT)</p>

起動条件

[起動条件] が追加されました。

変更前の動作メニュー (Ver.3.00)

設定項目なし

変更後の動作メニュー (Ver.3.01)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
動作	起動条件	接続検出
		信号検出

[オートパワーオン] が [HDMI1] に設定されているときの本機の起動方法を設定します。

接続検出

接続機器の起動を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。

信号検出

HDMIビデオ信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。

Microsoft Teams Roomsを使ってビデオ会議を行うとき、便利です。Microsoft Teams Rooms対応機器からのビデオ信号を検知して、自動的に本機の電源が入るため、すぐに会議を開始できます。



[信号検出] に設定すると待機電力が上がります。使用環境を考慮のうえ、設定してください。

待機モードと高速起動

[待機モード] と [高速起動] の項目表示条件が追加されました。

変更前の動作メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	<p>以下の場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [信号入出力] メニューの [AV出力] が [投写時] に設定されている • [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている
	高速起動	

変更後の動作メニュー (Ver.3.01)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
動作	待機モード	以下の場合に表示されます。 ・ [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている ・ [動作] メニューの [起動条件] が [接続検出] に設定されている ・ [ネットワーク] メニューの [オートパワーオン] が [オフ] に設定されている
	高速起動	

変更後のネットワークメニューのトランスミッター設定 (Ver. 3.01)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
ネットワーク	トランスミッター設定	[オートパワーオン] 以下の場合に表示されます。 ・ [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている ・ [動作] メニューの [起動条件] が [接続検出] に設定されている ・ [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている

トランスミッター設定

[トランスミッター設定] の [オートパワーオン] の項目表示条件が追加されました。

変更前のネットワークメニューのトランスミッター設定 (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目表示条件
ネットワーク	トランスミッター設定	[オートパワーオン] 以下の場合に表示されます。 ・ [信号入出力] メニューの [A/V出力] が [投写時] に設定されている ・ [動作] メニューの [高速起動] が [オフ] に設定されている

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ **関連項目**

- 「ツールバーのマウスボタン」 [p.41](#)
- 「EDIDに2560×1080/60Hzの項目を追加」 [p.41](#)

ツールバーのマウスボタン

[インタラクティブ] メニューに [ツールバーのマウスボタン] が追加されました (EB-1485FT)。

変更前のインタラクティブメニュー (Ver.3.01)

設定項目なし

変更後のインタラクティブメニュー (Ver.3.11)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
インタラクティブ	ツールバーのマウスボタン	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ

[ツールバーのマウスボタン] では、マウスボタンをインタラクティブツールバーに表示するかどうかを設定します。

EDIDに2560×1080/60Hzの項目を追加

[信号入出力] > [EDID] に、[2560×1080/60Hz] の項目を追加しました。

Microsoft Teams Roomsでフロントローレイアウトを使ってビデオ会議を行うときに便利です。

変更前の設定メニュー (Ver.3.01)

メニュー	設定値
EDID	各種設定値

変更後の設定メニュー (Ver.3.11)

メニュー	設定値
EDID	変更前の設定値, 2560×1080/60Hz



スクリーンタイプを [21:9] に設定すると、[EDID] は自動的に [2560×1080/60Hz] に設定されます。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「マウスボタンとステータスインジケータをツールバーに追加」
p.42

マウスボタンとステータスインジケータをツールバーに追加

マウスボタンとステータスインジケータがインタラクティブツールバーに追加されました (EB-1485FT)。

変更前のインタラクティブツールバー (Ver.3.01)



変更後のインタラクティブツールバー (Ver.3.11)



- : このボタンを押したインタラクティブペンまたは指を使って、コンピューターのマウスカーソルを操作することができます。
- : 各インタラクティブペンと指に現在設定されているツールを確認することができます。



- マウス操作が可能なのは、[PC操作] が有効のときです。
- マウスボタンは、[設置] メニューで [スクリーンタイプ] が [16:9] に設定されているときに表示されます。

特殊な解像度に、以下の項目を追加しました。

特殊な解像度

コンパチブルモード

Mode	HDMI/HDBaseT											
	RGB			YCbCr								
				4:4:4			4:2:2			4:2:0		
	8	10	12	8	10	12	8	10	12	8	10	12
特殊な解像度 (21:9)	✓											

モード情報

Mode	解像度 (dot)		水平同期 信号 (KHz)	リフレッ シュレー ト (Hz)	ドットク ロック (MHz)	走査方式
特殊な解像度 (21:9)	2560	1080	66.00	60	198.000	Progressive

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「タッチユニットメニューにタッチユニット設置 (手動) を追加」
p.44

タッチユニットメニューにタッチユニット設置 (手動) を追加

[タッチユニット] メニューに [タッチユニット設置 (手動)] が追加されました。

[タッチユニット設置] の項目名称が [タッチユニット設置 (自動)] に変更されました。

詳しくは、本機の『設置工事説明書』をご覧ください。

変更前のタッチユニットメニュー (Ver.3.11)

トップメニュー	サブメニュー	設定値
設置	タッチユニット	タッチユニット設置
ペン/指タッチ		

変更後のタッチユニットメニュー (Ver.3.14)

トップメニュー	サブメニュー	設定値
設置	タッチユニット	• タッチユニット設置 (自動) • タッチユニット設置 (手動)
ペン/指タッチ		

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「Crestron XiO Cloud」 [p.45](#)

Crestron XiO Cloud

[ネットワーク設定] メニューに [Crestron XiO Cloud] が追加されました。

変更前のネットワーク設定メニュー (Ver. 3.14)

設定項目なし。

変更後のネットワーク設定メニュー (Ver. 3.30)

トップメニュー	サブメニュー	設定値
ネットワーク設定	Crestron XiO Cloud	• オン • オフ

[オン] にすると、Crestron XiO Cloudを使用してプロジェクターやその他のさまざまな機器の監視と制御ができます。複数の機器を一元的に管理することができます。詳細は以下をご覧ください。

<https://www.crestron.com/Products/Featured-Solutions/XiO-Cloud>

アプリケーションに関する詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「Epson Setting Assistant Ver.2.00」 [p.46](#)

Epson Setting Assistant Ver.2.00

カメラ機能付きスマートフォンまたはタブレットでEpson Setting Assistantを使うと、より簡単に歪みを補正することができます。

プロジェクターから投写されるパターン画像を撮影して、映像のゆがみを補正したり、映像の投写位置を調整したりできます。



- 投写画面に表示されるQRコードを読み取ってアプリをインストールしてください。
[設置] > [幾何学歪み補正] > [アプリで自動補正]
- 無線LANが内蔵されていない機種は、オプションの無線LANユニットが必要です。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「初期設定ウィザード」 [p.47](#)
- 「幾何学歪み補正ウィザード」 [p.47](#)
- 「Setting Assistant接続」 [p.47](#)
- 「幾何学歪み補正」 [p.47](#)

初期設定ウィザード

初期設定ウィザードに「アプリを使って自動で調整する」の項目が追加されました。

カメラ機能付きスマートフォンまたはタブレットでEpson Setting Assistantを使うと、より簡単にゆがみを補正できます。



幾何学歪み補正ウィザード

「[設定]」メニューに「幾何学歪み補正ウィザード」が追加されました。

変更前の設置メニュー (Ver.3.30)

設定項目なし。

変更後の設置メニュー (Ver.3.40)

トップメニュー	サブメニュー	内容
設置	幾何学歪み補正ウィザード	Epson Setting Assistantやリモコンを使って映像のゆがみを補正できます。

Setting Assistant接続

「[設定]」メニューに「Setting Assistant接続」が追加されました。

変更前の設置メニュー (Ver.3.30)

設定項目なし。

変更後の設置メニュー (Ver.3.40)

トップメニュー	サブメニュー	内容
設置	Setting Assistant接続	Epson Setting Assistantに接続するためのQRコードを表示します。

幾何学歪み補正

「[幾何学歪み補正]」に「アプリで自動補正」の項目が追加されました。

変更前の幾何学歪み補正 (Ver.3.30)

設定項目なし。

変更後の幾何学歪み補正 (Ver.3.40)

設定	項目	内容
幾何学歪み補正	アプリで自動補正	Epson Setting Assistantのインストールを促す画面が表示されます。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Managementの操作変更」 [p.49](#)
- 「Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更」 [p.49](#)

Epson Projector Managementの操作変更

Epson Projector Managementを使うときの注意事項が追加されました。

- Epson Projector Managementに登録済みのプロジェクターの状態が [ネットワークエラー (Web制御パスワード認証エラー)] と表示される場合は、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用してプロジェクターを再登録してください。
- Epson Projector Managementを使ってプロジェクターのファームウェアを更新する場合は、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用してください。

Miracast機能を使ったScreen Mirroringの操作変更

Screen Mirroringでの投写中に、デバイスを強制的に切断できるようになりました。

投写中にリモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押します。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「EPMC監視制御」 p.50

EPMC監視制御

[ネットワーク] メニューに [EPMC監視制御] が追加されました。

変更前の [ネットワーク] メニュー (Ver. 3.40)

設定項目なし。

変更後の [ネットワーク] メニュー (Ver. 3.50)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	EPMC監視制御	<ul style="list-style-type: none">• EPMC設定• EPMC設定書き出し• EPMC設定読み込み

[EPMC監視制御] を [オン] にして必要な設定をすると、Epson Projector Connected Agentを介さずに、Epson Projector Management Connectedクラウドサーバーと直接通信できます。詳しくは『Epson Projector Management Connected操作ガイド』をご確認ください

<https://www.projection-service.epson.com/pages/epm-connected/online-manual/web-front/JA/index.html>

よくあるご質問

お問い合わせのあったトラブルと、その対処方法について説明します。

▶ 関連項目

- 「マルチプロジェクション機能のトラブル」 [p.52](#)
- 「画面共有機能のトラブル」 [p.60](#)
- 「その他のトラブル」 [p.63](#)

複数台のプロジェクターを並べてひとつの大きな映像を投写しているときの、トラブルの対処方法を確認します。

▶ 関連項目

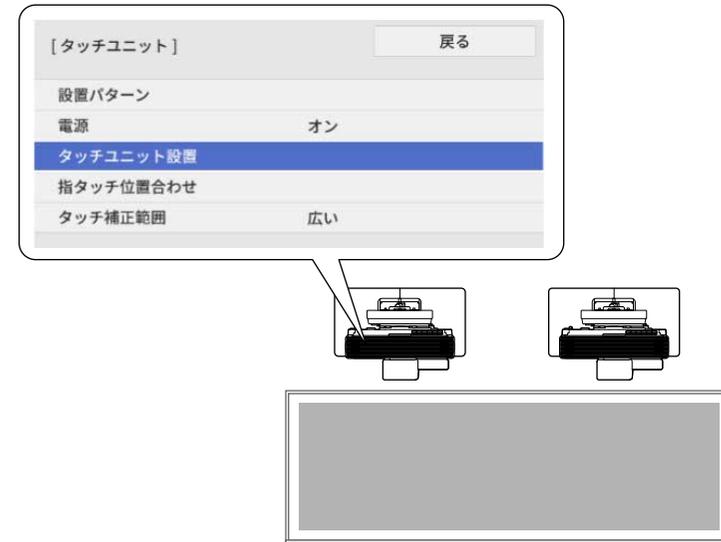
- 「タッチユニットの自動調整が失敗する」 p.52
- 「映像同士の色味が合わない」 p.56
- 「投写位置を調整したい」 p.56
- 「マルチプロジェクション機能のその他のトラブル」 p.58

タッチユニットの自動調整が失敗する

タッチユニットのレーザー自動調整がうまくいかないときは、以下の手順をお試しください。以下の手順は、マルチプロジェクション投写した画面をエッジブレンディング機能で調整するときの対処法です（EB-1485FT）。

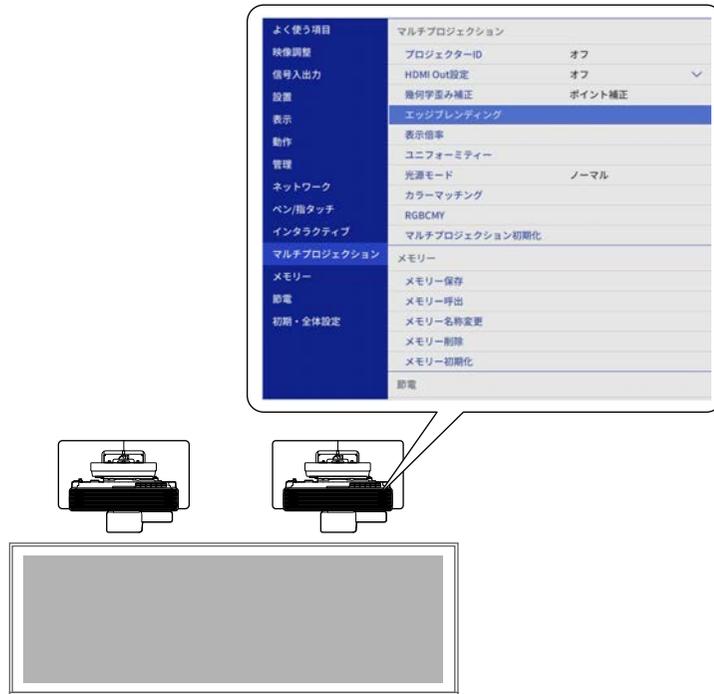
この対処法はファームウェアVer.1.50未満の場合に適用します。

- 1 1台目のプロジェクターの【メニュー】ボタンを押して、[設置] > [タッチユニット] > [タッチユニット設置] を選択します。

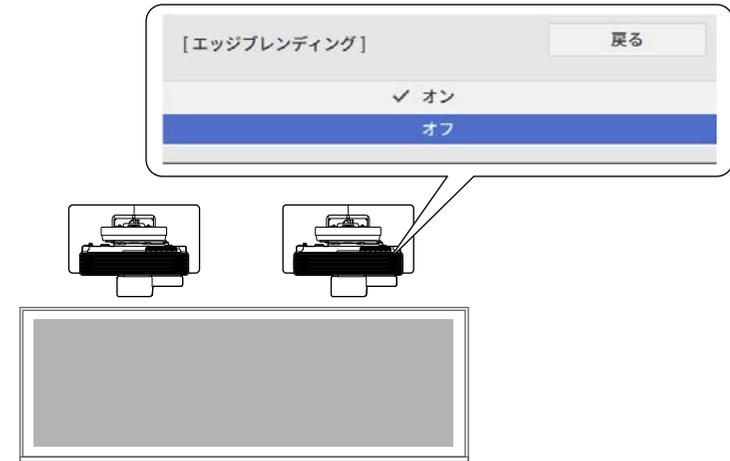


- 2 画面の指示に従って、タッチユニットの自動調整を実行してください。自動調整の詳細な手順は、『設置工事説明書』をご覧ください。

3 2台目のプロジェクターの【メニュー】ボタンを押して、[マルチプロジェクション] > [エッジブレンディング] を選択します。

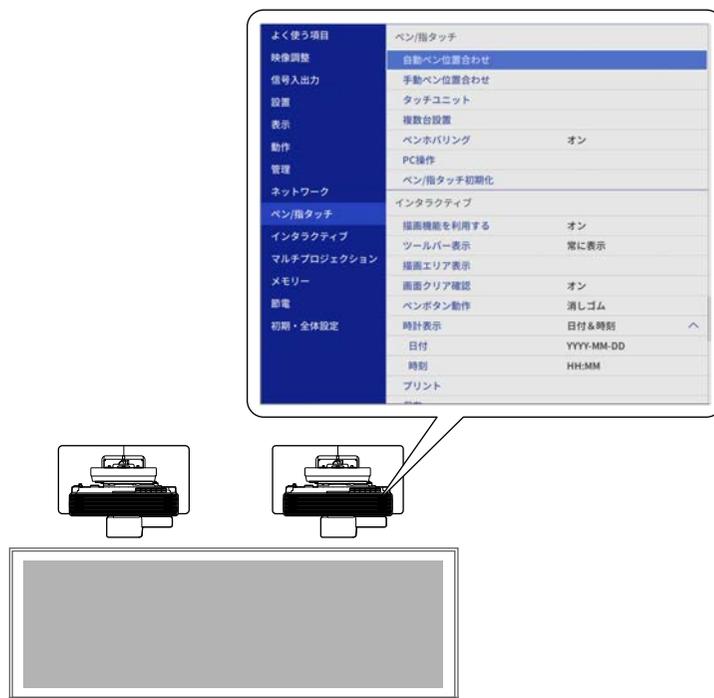


4 [エッジブレンディング] をオフに設定します。



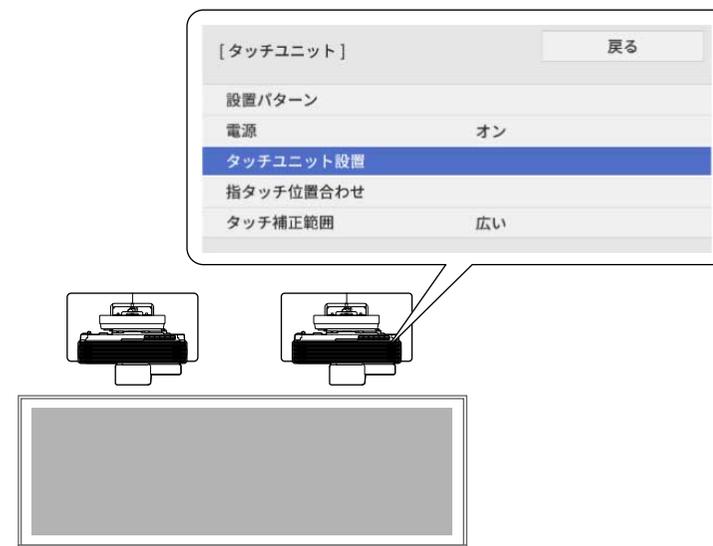
投写映像がエッジブレンディング調整前の状態に戻りますが、調整値は保持されます。

- 5** トップメニューに戻り、[ペン/指タッチ] > [自動ペン位置合わせ] を選択します。



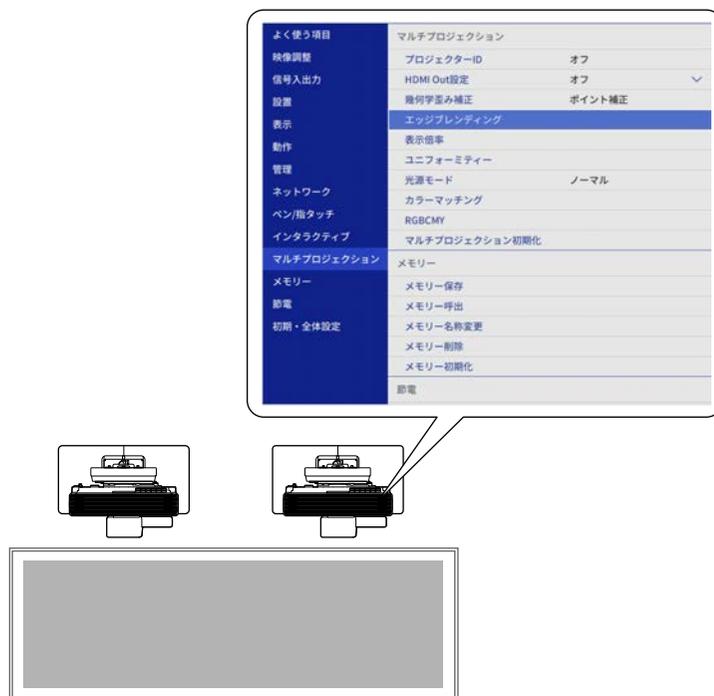
- 6** 画面の指示に従って、自動ペン位置合わせを実行してください。自動ペン位置合わせに失敗したときは、[ペン/指タッチ] > [手動ペン位置合わせ] を実行してください。

- 7** トップメニューに戻り、[設置] > [タッチユニット] > [タッチユニット設置] を選択します。

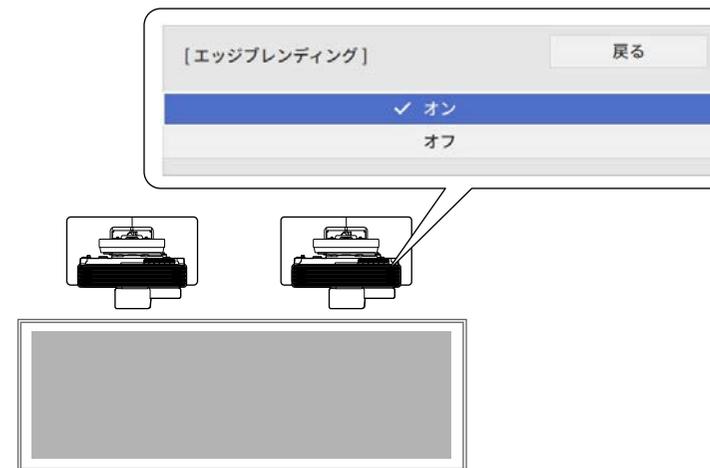


- 8** 画面の指示に従って、タッチユニットの自動調整を実行してください。自動調整の詳しい手順は、『設置工事説明書』をご覧ください。

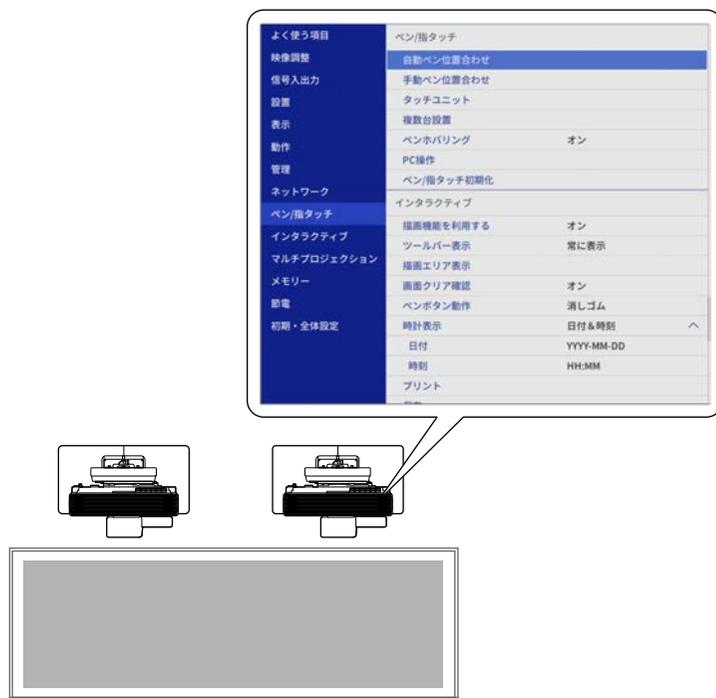
- 9** トップメニューに戻り、[マルチプロジェクション] > [エッジブレンディング] を選択します。



- 10** [エッジブレンディング] をオンに設定します。



- 11** トップメニューに戻り、[ペン/指タッチ] > [自動ペン位置合わせ] を選択します。

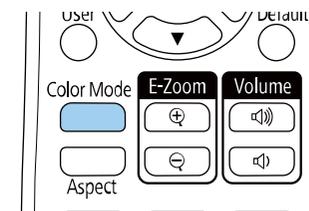


- 12** 画面の指示に従って、自動ペン位置合わせを実行してください。自動ペン位置合わせに失敗したときは、[ペン/指タッチ] > [手動ペン位置合わせ] を実行してください。

映像同士の色味が合わない

複数台のプロジェクター間で映像の色味が異なるときは、以下の手順をお試しく下さい。以下の手順は、マルチプロジェクション投写している場合の対処法です。

- 1** リモコンの【カラーモード】ボタンを押して、カラーモードを[マルチプロジェクション]に設定します。



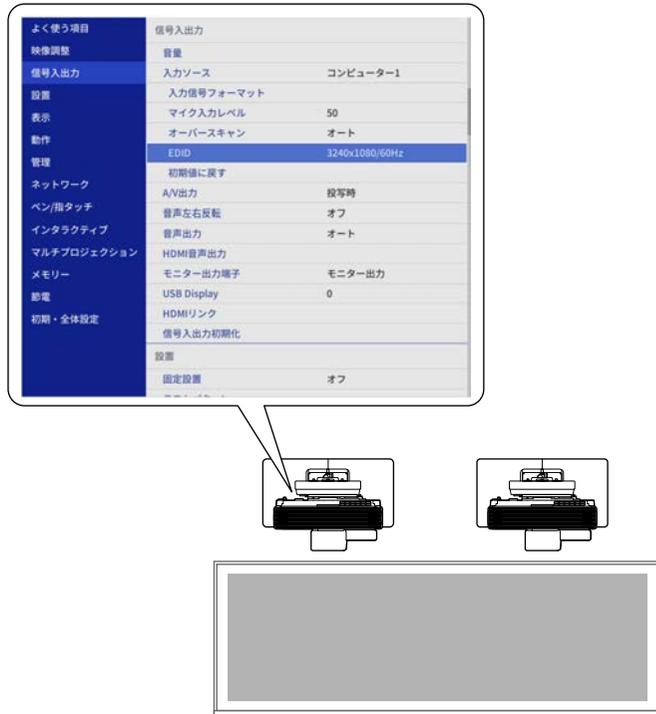
- 2** 以下の機能を使って、映像同士の色味を合わせます。詳しくは『取扱説明書』または『設置工事説明書』をご覧ください。

- [マルチプロジェクション] > [ユニフォーミティー]
- [動作] > [光源明るさ制御]
- [マルチプロジェクション] > [カラーマッチング]
- [マルチプロジェクション] > [黒レベル調整]
- [画質] > [RGBCMY]

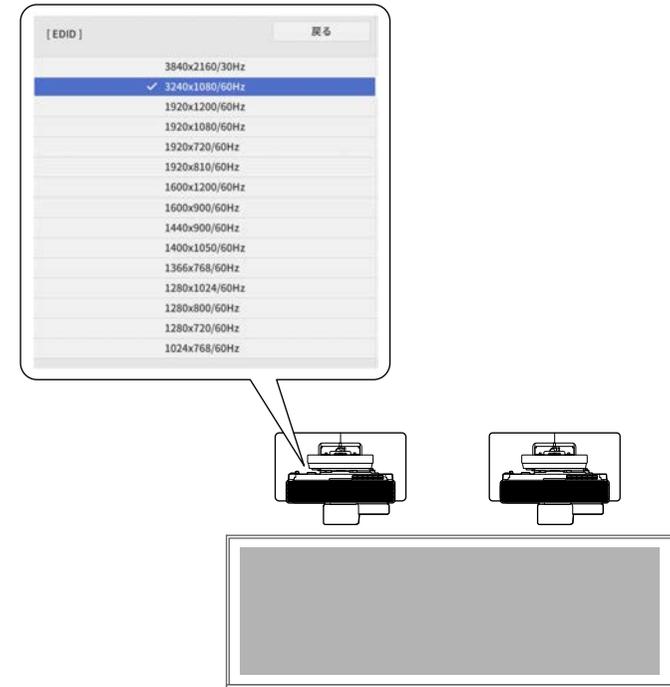
投写位置を調整したい

投写映像の周りの黒帯が気になるときは、以下の手順をお試しく下さい。以下の手順は、マルチプロジェクション投写している画面でインタラクティブ機能を使うときの対処法です (EB-1485FT)。

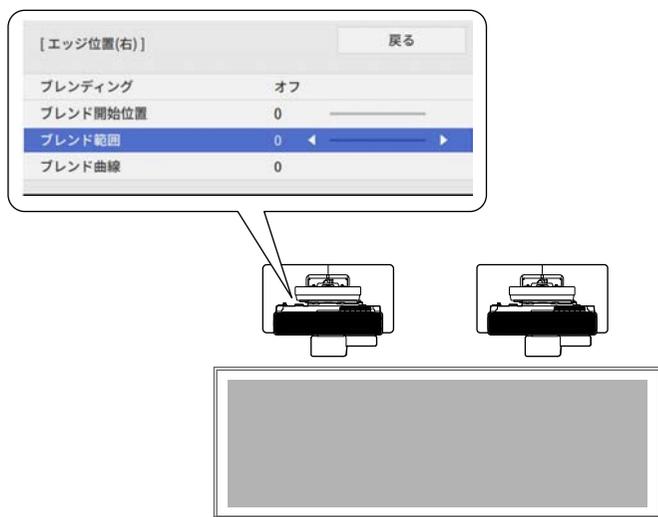
- 1** 片方のプロジェクターで、リモコンの【メニュー】ボタンを押して、[信号入出力] > [EDID] を選択します。



- 2** [3240×1080/60Hz] を選択します。

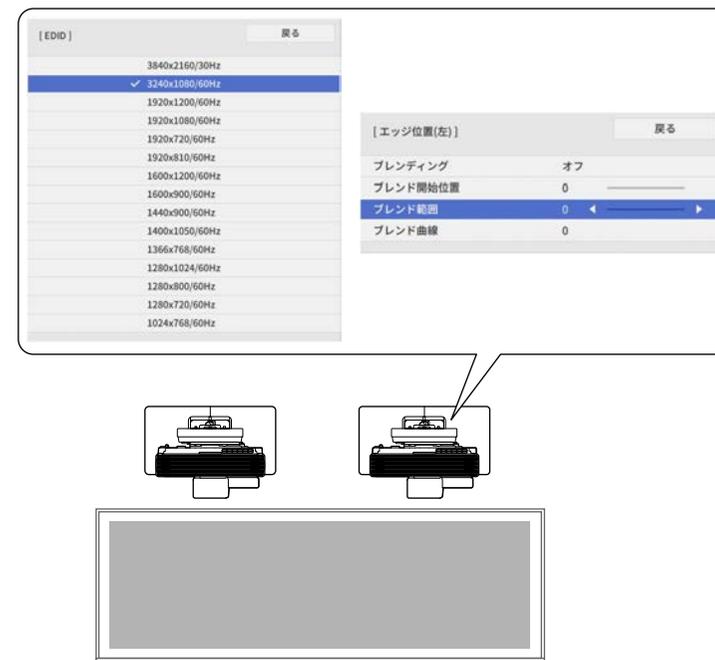


- 3** トップメニューに戻り、[マルチプロジェクション] > [エッジブレンディング] > 調整するエッジ位置 > [ブレンド範囲] を選択します。



- 4** [600] に設定します。

- 5** もう一方のプロジェクターで、同様の設定を行います。



[ブレンド範囲] を [600] に設定できないときは、任意のブレンド範囲を設定してください。任意のブレンド範囲にすると、投写映像の左右に黒帯が出ることがあります。

マルチプロジェクション機能のその他のトラブル

マルチプロジェクションで映像が投写できないときは、次の対処方法を確認してください。

- [スクリーンタイプ] を [16:9] に設定します。他のスクリーンタイプを選択すると、映像が正しく表示されないことがあります。

- マルチプロジェクションで映像を投写していてインタラクティブ機能が使えないときは、USBケーブルの接続を確認します（EB-1485FT）。
 - USBケーブルを1台目のプロジェクターのUSB-A1またはUSB-A2端子に接続します。
 - 2台目のプロジェクターの [ペン/指タッチ] メニューで [USB-B2] を [オフ] に設定しているときは、USBケーブルをUSB-B1端子に接続します。
 - 2台目のプロジェクターの [ペン/指タッチ] メニューで [USB-B2] をいずれかのHDMI端子に設定しているときは、USBケーブルをUSB-B2端子に接続します。[USB-B2] で指定した入力ソースで映像を投写しているときのみインタラクティブ機能を使用できます。
- ☛ [ペン/指タッチ] > [PC操作] > [USB-B2]

画面共有がうまく使用できないときは、次の対処方法をご確認ください
(EB-1485FT)。

▶ 関連項目

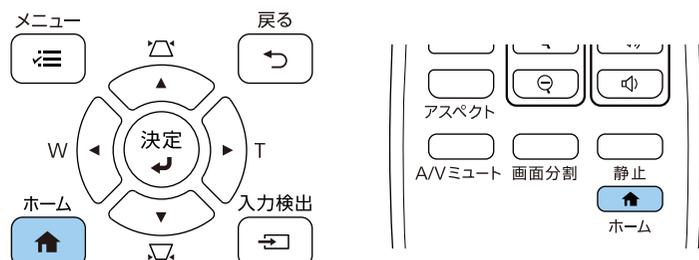
- 「投写画面を配信する」 p.60
- 「画面共有を終了する」 p.61

投写画面を配信する

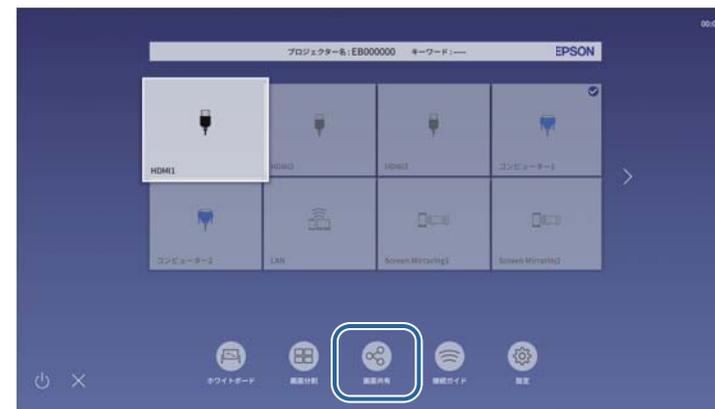
画面共有の設定をして、プロジェクターから投写している画面を同じネットワークに接続している他のプロジェクターに配信できます。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 【ホーム】ボタンを押します。



3 【画面共有】を選択します。



4 画面を共有するプロジェクターを指定します。

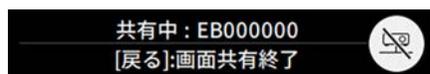


- ① テンキーを使用してIPアドレスを入力します。
- ② 入力が求められたときに、テンキーを使用してプロジェクターキーワードを入力します。プロジェクターキーワードは受信するプロジェクターの投写画面に表示されます。

③ 接続履歴を表示します。以前に接続したことがあるプロジェクターに接続するときは、リストからIPアドレスを選択することができます。

5 [接続] を選択します。

接続が完了すると、共有状況を示す情報バーが画面の右上に表示されます。情報バーはドラッグして位置を左右に移動できます。



6 手順3から6を繰り返して、その他のプロジェクターと接続します。

7 を選択して、配信された画面への描画を許可するかどうかを選択できます。

- : 受信するプロジェクターでの描画を許可します。
- : 受信するプロジェクターでの描画を許可しません。

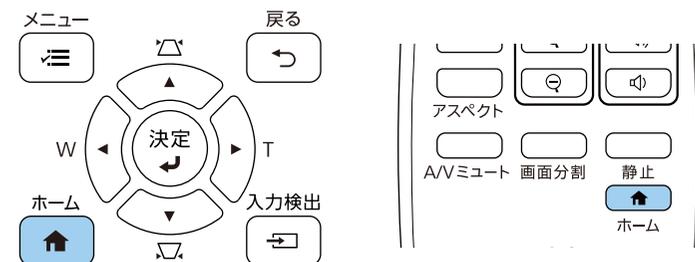
8 入力ソースを選択して、共有したい映像を投写します。

配信先のプロジェクターに画面が表示されます。

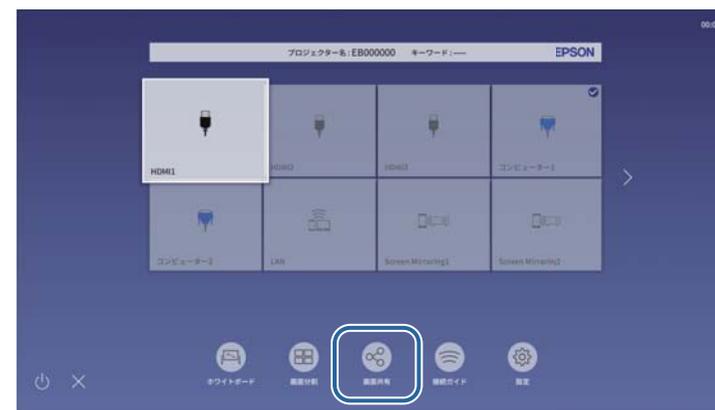
画面共有を終了する

画面共有はステータスバーの アイコンを選択して終了できます。このアイコンを押すと、すべてのプロジェクターへの配信を一度に終了できます。特定のプロジェクターのみ配信を停止するときは、以下の操作をします。

1 【ホーム】 ボタンを押します。



2 【画面共有】 を選択します。



- 3** 配信を停止するプロジェクターを選択します。



- 4** [切断] を選択します。
選択したプロジェクターとの接続が切断され、画面共有が終了します。

- 5** 手順3と4を繰り返して、その他のプロジェクターと切断します。



[共有終了] を選択すると、ボタンが [確認] に変わります。再度ボタンを選択し、すべてのプロジェクターと切断します。

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

▶ 関連項目

- 「画面分割のトラブル」 [p.63](#)
- 「USB Displayのトラブル」 [p.63](#)
- 「ユーザーパターン保存のトラブル」 [p.63](#)
- 「Screen Mirroringに関するトラブル」 [p.63](#)

画面分割のトラブル

画面分割がうまく動作しないときは、以下の対処方法をご確認ください。

- [PC操作] が選択できないときは、[USB Display] が入力ソースに含まれていないことを確認します。他の入力ソースを選択してください (EB-1485FT)。
- [表示倍率] または [エッジブレンディング] を設定しているときは画面分割が使用できないことがあります。設定をオフにしてください。

USB Displayのトラブル

USB Displayで映像が投写できないときは、次の対処方法を確認してください。

- 【入力検出】機能でプロジェクターのUSB-B端子に入力した信号を検出できないときは、リモコンの【USB】ボタンを押して入力ソースをUSBに切り替えます。

ユーザーパターン保存のトラブル

ユーザーパターンの保存ができないときは、以下の対処方法をご確認ください。

- HDCPで保護されたコンテンツは保存できません。保護されていないコンテンツを投写し、再度保存してください。

Screen Mirroringに関するトラブル

Screen Mirroringで投写できないときは、以下の対処方法をご確認ください (EB-1485FT)。

- [キャプチャー] を [使用可能] に設定するとHDCPが無効になり、HDCPで保護された映像が投写できなくなることがあります。[キャプチャー] を [使用不可] に設定してください。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Screen Mirroring] > [キャプチャー]

付録

新しく用意したオプションや使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- 「オプション」 [p.65](#)
- 「一般のご注意」 [p.66](#)

下記のオプション品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

▶ 関連項目

- 「無線LAN用オプション」 [p.65](#)

無線LAN用オプション

ワイヤレスプレゼンテーションシステム **ELPWP10**

本機とWindows/Macコンピューターを直接接続して無線で投写するときに使います。2つのトランスミッター（ELPWT01）と1つの無線LANユニット（ELPAP11）が含まれています。

トランスミッター **ELPWT01**

ワイヤレスプレゼンテーションシステムに追加するトランスミッターです。

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- 「ご注意」 p.66
- 「商標について」 p.66
- 「著作権について」 p.66

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

WindowsおよびMicrosoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

MacおよびmacOSは、Apple Inc.の商標です。

Crestron XiO Cloud[®]は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2019 Seiko Epson Corporation

Rev.12 2025.03 JA